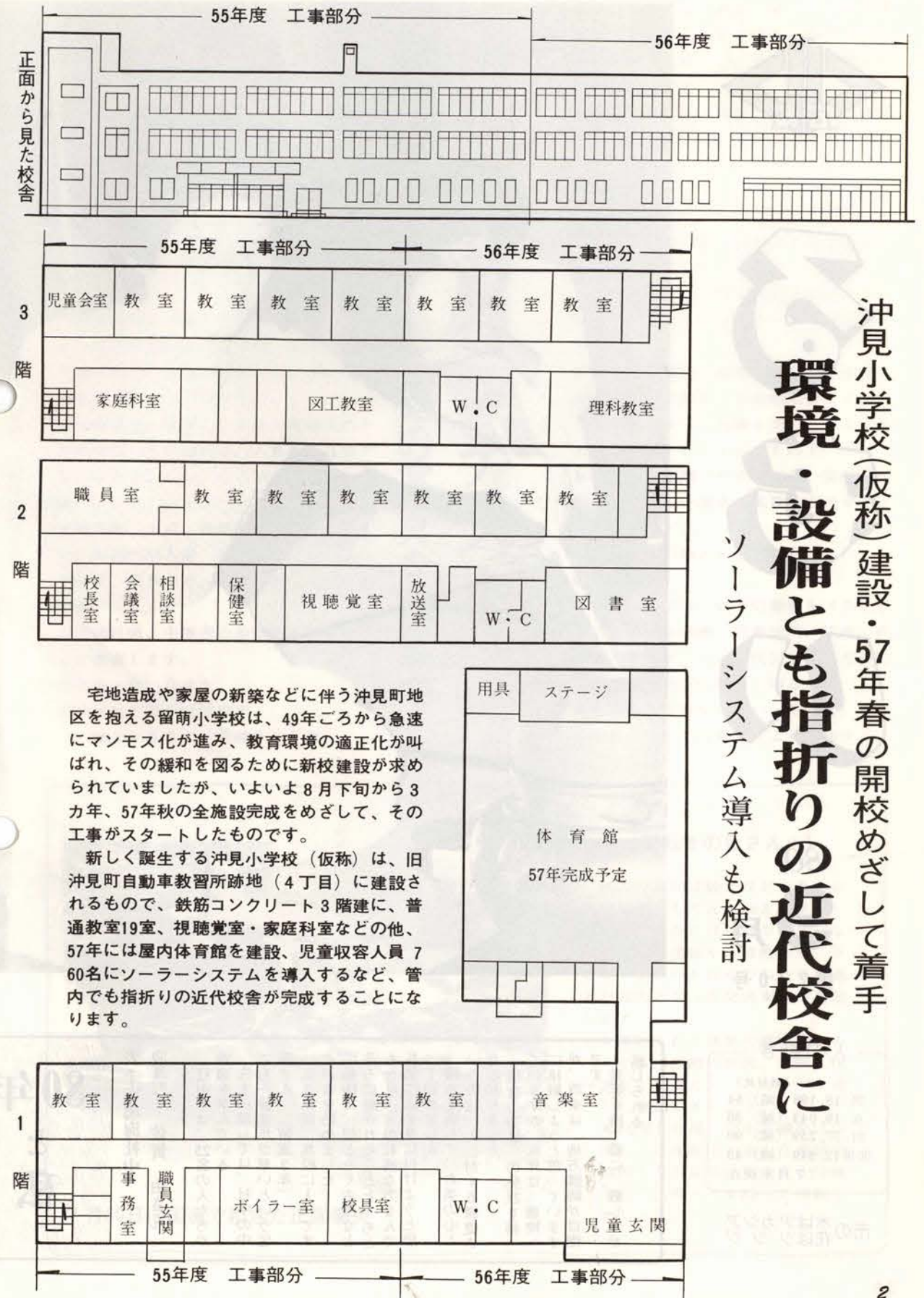


沖見小学校(仮称)建設・57年春の開校めざして着手

環境・設備とも指折りの近代校舎に ソーラーシステム導入も検討



宅地造成や家屋の新築などに伴う沖見町地区を抱える留萌小学校は、49年ごろから急速にマンモス化が進み、教育環境の適正化が叫ばれ、その緩和を図るために新校建設が求められていましたが、いよいよ8月下旬から3カ年、57年秋の全施設完成をめざして、その工事がスタートしたものです。

新しく誕生する沖見小学校(仮称)は、旧沖見町自動車教習所跡地(4丁目)に建設されるもので、鉄筋コンクリート3階建に、普通教室19室、視聴覚室・家庭科室などの他、57年には屋内体育館を建設、児童収容人員760名にソーラーシステムを導入するなど、管内でも指折りの近代校舎が完成することになります。

新しく建設される沖見小学校(仮称)は、旧沖見自動車教習所跡地(沖見町四)の跡地に建設されるもので、鉄筋コンクリート三階建、校舎総面積五〇九二平方メートル、校舎総面積五〇九二平方メートル、総工費七億三千万円で建設するもので、本年度を初年度とし、五十七年全施設(体育館)の完成をめざして工事がスタートしたわけですが、この沖見小学校の建設は、さる四十九年頃から沖見町地区の宅造それに伴う家屋建設で、同地区の人口も急増、これに伴って同地区の通学区となつて留萌小学校は年毎に児童が増え出し、文部省などで適正規模とされている一クラス編成人員をはるかに超えるなど、全道的に見ても指折りの過密校舎といわれていました。

ことしは教室12 視聴覚室なども

沖見小学校の総面積は一万六〇〇〇平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート三階建、延面積五〇九二平方メートルの校舎で七百七十名を収容できます。

このうち、第一期工事分として本年度は二二三六平方メートルに、普通教室十二室を始め、視聴覚室、職員室、家庭科室、図工教室、児童会室などの建設に着手します。

また、明年度の二期工事分では一七九三平方メートルに、普通教室七室を始め、音楽室、図書室、理科教室

室などを建設、最終年度の五十七年には九六三平方メートルの屋内体育館を完成して、全施設が完成することになります。

今後、ますます増えつつある沖見町地区には、同小学校への通学区は沖見町三丁目からの児童が対象となる計画ですが、現在、同地区からは、沖見町三から六丁目まで(約六百八十名の児童が現留萌小学校に通学しており、これらの児童が新校舎に移ることによって、現在の通学区の変更が検討されることとなります。

現在の計画では、二期工事が終了する五十七年春には開校の予定です。

さらに、屋外運動場を、校舎裏側に設置し、二百メートルのトラック等が整備されます。

また、給湯施設などにはソーラーシステム等の導入が検討されています。

64年国体空手道会場に留萌も 市民こそぞって誘致に協力を

九年後の第四十四回国民体育大会(一九八九年)は、北海道で完全国体(夏・秋・冬の開催)として開催される予定ですが、この国体の競技の中で、空手道大会の開催会場として留萌市も誘致に取組みを進めることになりました。

この空手道は、明年から国体の正式種目に盛り込まれることになっていますが、この大会を留萌で開催するには、市を始め市体協、空手道留萌支部などが協力して、道事務局や関係団体に働きかけを進めることになる訳ですが、何んといつても、市民皆さんの協力、いわゆる「市民こそぞって国体会場の一つに留萌を」を合言葉にして運動をしなければなりません。

この空手道大会を留萌で開催するには、競技者人口が少ないこと

と、施設のちよと適切な会場があり、大会本部となる札幌市から二百以内という好条件にあることから、少しでも留萌の全国的知名度アップを図ることも、大きな要因となることが考えられています。

正式決定は十二月、最終的には七年後の六十二年となる予定です。

なお、この大会は道北ブロックはスキーを主体として、旭川ではスキー、バレーボール、バドミントン、庭球、卓球、名寄・富良野ではスキー競技、士別ではウエートリフティング等の開催会場として誘致に取り組んでいます。

また、全道的には道東でスケート、道央で陸上、サッカ、庭球道南では水泳、ヨット、カヌー等の競技が開催される計画です。

市議会の動き

市議会第3回臨時会はさる8月11日招集、会期を1日とし、工事請負契約の締結などについて提案され、原案通り可決された。

新設小学校の建設工事契約について、沖見小学校(仮称)の建設工事請負契約の締結は、二億四千三百五十万円、興北建設株式会社との契約について、原案可決

動議 / 金大中氏救出の緊急措置を要する決議について、韓国元大統領候補である金大中氏の致死事件等、関連する事態について

人道的立場から、緊急にその把握を、総理大臣等に要望するものです。原案可決

精神障害者対策に関する決議について、道内で頻発した精神障害者による事件について、今後、緊急な対策と、指導、施設の充実強化を図ることを要望するものです。

エネルギー問題に 本格取り組みを

エネルギー課を設置

市では、近年、特に注目されているエネルギー問題に対応するため、八月から企画室内に資源エネルギー課を設置しました。同課では波力をはじめ風力、太陽熱などのあらゆる自然エネルギーの活用に取り組み留萌市にあったエネルギー対策の確立に努めるものです。